

道徳学習指導案

4年1組

- 1 主題名 勇気をもって (Aー善悪の判断、自律、自由と責任)
- 2 資料名 「遠足の朝」
- 3 ねらい 正しいと判断したことを自信をもって行えたときに、やってよかったという自信や喜びが生まれることに気づき、よいと思うことを進んで行うための判断力を育てる。

4 本時の指導計画

| 過程 | 学習活動と内容 | ◇指導上の留意点☆学習状況の把握 |
|----|---|--|
| 導入 | 1.今までの経験を振り返る。 ○仲間外れにされると、どんな気持ちになりますか。 ・悲しい ・つらい ・嫌な気持ち | ◇事前にアンケートを取り、活用する。 |
| 展開 | 2.教材「遠足の朝」を読んで考え、話し合う。 ○ひとりぼっちのなおりさんを見たとき、「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。 ・かわいそうだな。 ・なんでゆきさんたちは仲間外しをしているのだろう。 ・声をかけてあげようかな。 ○「四人から、にらまれるかもしれません。でも、ここで知らん顔をしたら…」と迷う「わたし」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・ひとりぼっちはかわいそうだから誘おう。 ・でも、私もゆきさんたちに悪く言われたら嫌だな。 ・だけど、ここで知らないふりをするのはよくない。 ○なおりさん、わたしたちのグループに入ってくれない。」と声をかけた「わたしたち」や、声をかけられたなおりさんは、どんなことを考えていたのでしょうか。 《わたしたち》 ・入ってくるといいな。 ・一緒に楽しく遠足へ行きたいな。 ・味方になってあげたい。 《なおり》 ・仲間外れにされてさみしかったけど、声をかけてもらってうれしい。 ・誘ってくれてありがとう。 ・もし、これからひとりぼっちの人がいたら、私も声をかけてあげたい。 3. 自分の生活から考える。 ○正しいと考えたことを行うことは、どんなところが難しいでしょう。また、それでも行ったほうがよい理由は何でしょう。 ・みんなに陰口を言われるかもしれないから勇気が出ない。でも、そのままにしておく直らないから、正しいことを伝える。 ・今度は自分が何かされるかもしれないと思うと不安になる。だけど正しいことをすると気持ちがすっきりするから、正しいことをしていく。 | ◇なおりがひとりぼっちになっていることに気づいても、声をかけることができない「わたし」の気持ちに気づかせる。 ◇グループに誘うか迷う「わたし」の気持ちをペアやグループで話し合い、周りの目を気にして迷う人間の弱さと自分が信じる正しいことをしようとする勇気の両方を感じさせる。 ◇ワークシートを用いて、周囲の目や意見に左右されずに正しいと思っていることを行ったときの「わたし」のすがすがしい気持ちや「なおり」の声をかけてもらった側のほっとした気持ちの両方を考えさせる。 ☆自分の弱さに負けずに、正しいと判断したことをすることのよさについて考えているか。〈ワークシート・発言〉 ◇正しいと判断したことを自信をもって行うことの大切さを考えさせる。 ☆正しいと判断したことは、自信をもって行おうとしているか。〈道徳ノート・発言〉 |
| 終末 | 4. 教師の説話を聞く。 | |

評価：正しいと判断したことを自信をもって行えたときには、やってよかったという自信や喜びが生まれることに気づき、よいと思うことを進んで行おうとすることの大切さについて考えることができたか。